

最近の感染症の動向

三重県保健環境研究所疫学研究課

本日の内容

- 感染症発生動向調査事業
- 全数把握疾患の発生動向
- 定点把握疾患の発生動向

感染症発生動向調査事業とは

- 感染症法*に基づき、規定された感染症の患者発生状況を医療機関からの届出により把握・分析し、予防や診察に役立つ情報を迅速に提供・公開するとともに、積極的疫学調査により、感染症のまん延防止に役立てることを目的としています。
- 届出の対象となる感染症は、1～5類の117疾患で、全数把握（全ての医師・獣医師が届出を行う）と、定点把握（知事が指定した医療機関の管理者のみが届出を行う）に分類されています。
- 定点種別は、①急性呼吸器感染症定点（内科・小児科）、②小児科定点、③眼科定点、④性感染症定点、⑤基幹定点、⑥疑似症定点があります。

※1 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」

感染症情報の収集・分析・提供

国の感染症発生動向調査事業実施要綱に基づく感染症情報の収集・分析・提供

全ての医療機関から直ちに届出
(全数把握)

1 類感染症～ 4 類感染症(63疾患)
5 類感染症 (3 疾患)

全ての医療機関から7日以内に届出

5類感染症 (21疾患)

指定届出機関から週単位で届出
(定点把握)

5類感染症 (19疾患)

指定届出機関から月単位で届出

5類感染症 (7疾患)

2025年1～5類全数届出感染症患者届出数(三重県)

分類	分類別 通し 番号	疾 患 名	備 考	第22週	第23週	第24週	第25週	第26週	計	過去10 年平均	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
2	2	結核		8	3		4	8	95	253.0	218	192	171	175	210
3	2	細菌性赤痢							0				4		
	3	腸管出血性大腸菌感染症			1	1			9	46.3	35	37	52	57	44
	4	腸チフス							0	0.2			1	1	2
4	1	E型肝炎							3	3.3	10	5	1	1	6
	3	A型肝炎			1				2	2.3			2		5
	15	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)		1	1				5	1.9		3	9	4	1
	21	つつが虫病							1	4.4	9	4	7	5	3
	22	デング熱							1	1.7				3	2
	26	日本紅斑熱		2	2	2	1	3	25	47.7	61	56	51	67	72
	31	ブルセラ症							0		1				
	42	レジオネラ症			1	1	1		15	26.6	29	23	34	28	33
	43	レプトスピラ症							0	0.3		1		1	1
5	1	アメーバ赤痢		1				1	3	9.0	7	5	7	2	8
	2	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く)							0	2.3	2		2	1	1
	3	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1					12	31.2	24	16	24	33	29
	4	急性弛緩性麻痺				1	1		3	0.8			1	4	2
	5	急性脳炎							3	6.2	14	6	9	3	6
	7	クロイツフェルト・ヤコブ病							1	1.7		3	1	1	2
	8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1		16	10.0	13	10	6	18	28
	9	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)				1	1		4	8.5	9	6	5	2	6
	10	ジアルジア症							0		1	1			
	11	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1			1		5	4.3	1	1	6	7	9
	12	侵襲性髄膜炎菌感染症							1	0.5					1
	13	侵襲性肺炎球菌感染症				1		1	30	33.4	20	20	26	23	32
	14	水痘(入院例)							4	3.6	5	4	2	4	2
	16	梅毒		3	3	3	1	2	57	59.5	43	71	92	114	135
	17	播種性クリプトコックス症			1				3	2.9	6	4	3	3	2
	18	破傷風							0	1.0	1		3	1	
	20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症							0		1				1
	21	百日咳		29	36	40	33	49	361	81.2	17	2		4	12
	22	風しん							0		4		1		
	23	麻しん							2						
	24	薬剤耐性アシネトバクター感染症							1						

* 急性脳炎:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

* 重症熱性血小板減少症候群:病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

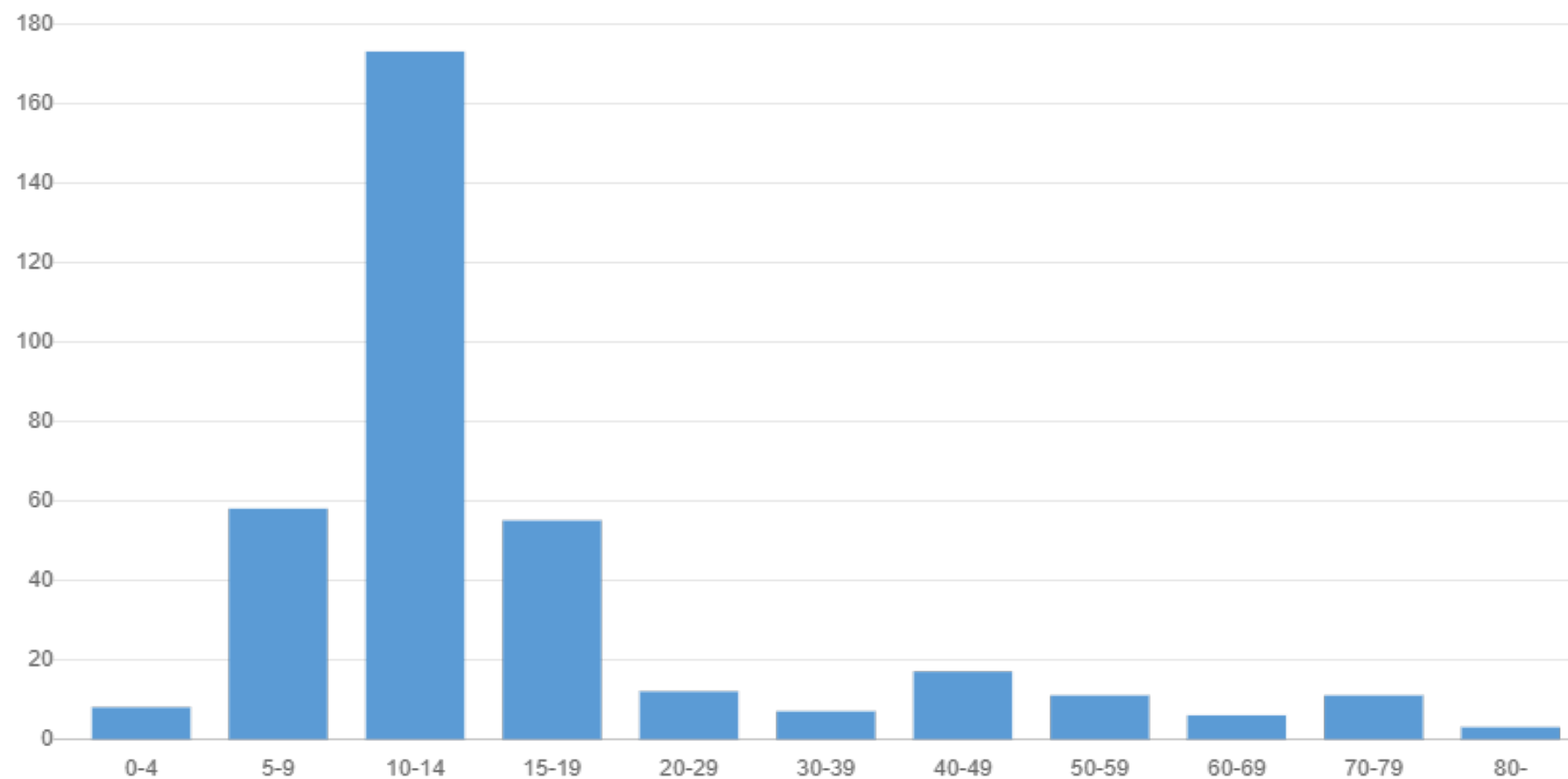


図2. 2025年の年齢階級別百日咳患者届出数

定点把握対象感染症（週報告）

■ 小児科定点

- ①咽頭結膜熱
- ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- ③感染性胃腸炎
- ④水痘
- ⑤手足口病
- ⑥伝染性紅斑
- ⑦突発性発しん
- ⑧ヘルパンギーナ
- ⑨流行性耳下腺炎
- ⑩RSウイルス感染症

*：基幹定点④、⑤は県独自に小児科定点でも把握

■ 急性呼吸器感染症定点（内科・小児科）

- ①急性呼吸器感染症（合計）
- ②インフルエンザ
- ③新型コロナウイルス感染症

■ 眼科定点

- ①急性出血性結膜炎
- ②流行性角結膜炎

■ 基幹定点

- ①感染性胃腸炎（ロタウイルス）
- ②細菌性髄膜炎
- ③無菌性髄膜炎
- ④マイコプラズマ肺炎*
- ⑤クラミジア肺炎*

定点当たり患者報告数とは

- 定点当たり患者報告数は、各定点医療機関からの患者数の合計を定点数で割った数値で、1医療機関において1週間（月～日）に診断された患者数です。

保健所管内別定点医療機関数

定点区分	桑名	四日市市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	合計
小児科定点	6	6	6	7	5	7	5	1	1	44
急性呼吸器感染症定点(小児科+内科)	10	9	10	11	7	11	8	2	2	70
眼科定点	1	2	1	2	1	2	1	1	1	12
性感染症定点(皮膚科、泌尿器科、産婦人科)	2	3	2	2	2	2	2	1	1	17
基幹定点	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9

手足口病

- 病原体

コクサッキーウイルスA16（CA16）、CA6、
CA10、エンテロウイルス71

- 感染経路

飛沫感染、経口感染

- 好発年齢

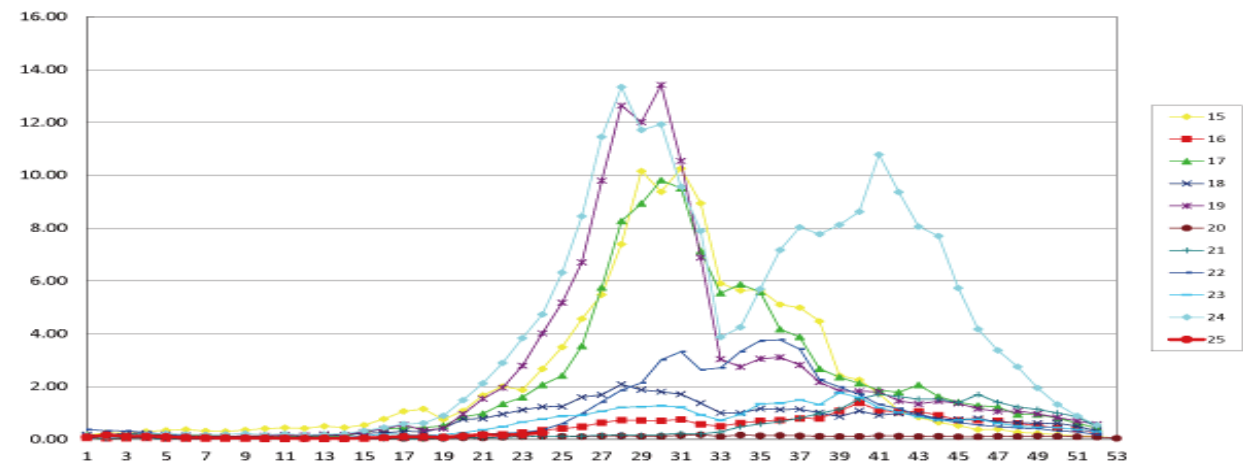
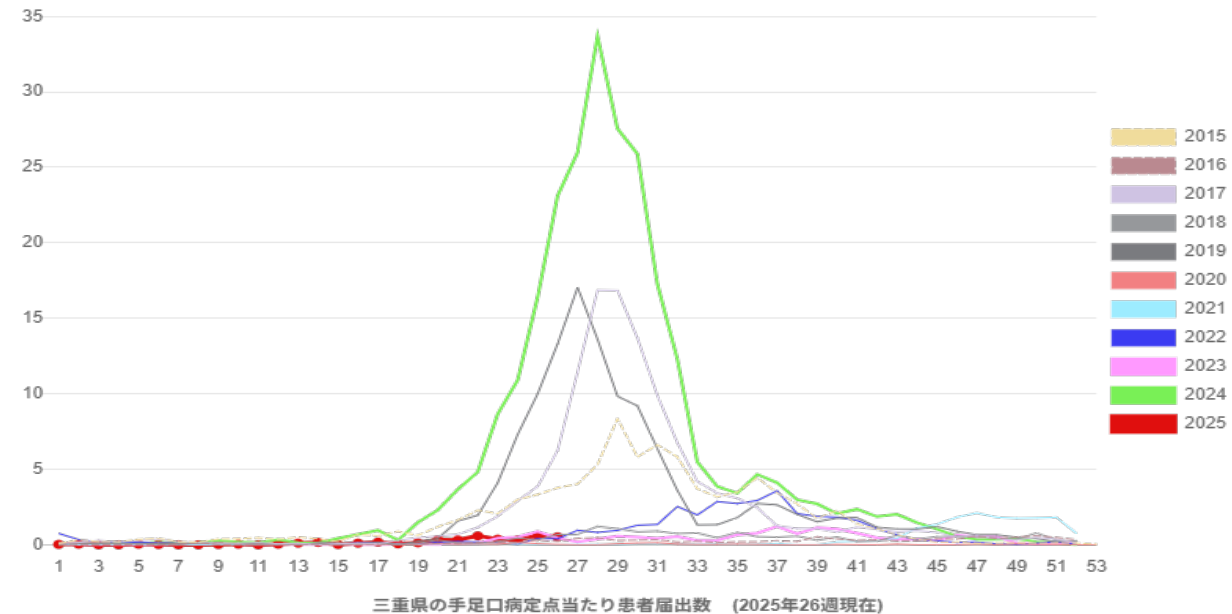
1歳を中心に4歳位までの幼児に多い

- 流行時期

夏季に流行のピークがある

- 登校（園）基準

症状が回復した後



ヘルパンギーナ

- 病原体

主にコクサッキーウイルスA群

- 感染経路

接触感染を含む糞口感染、飛沫感染

- 好発年齢

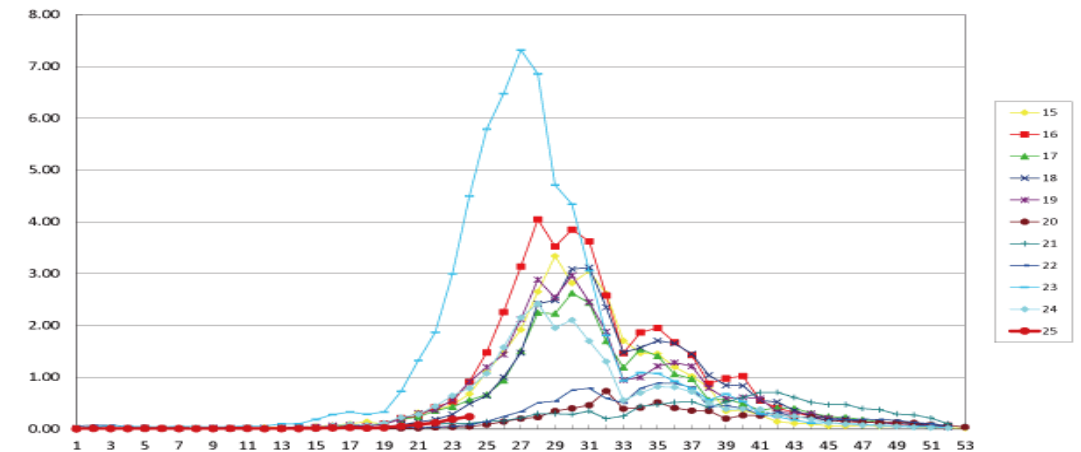
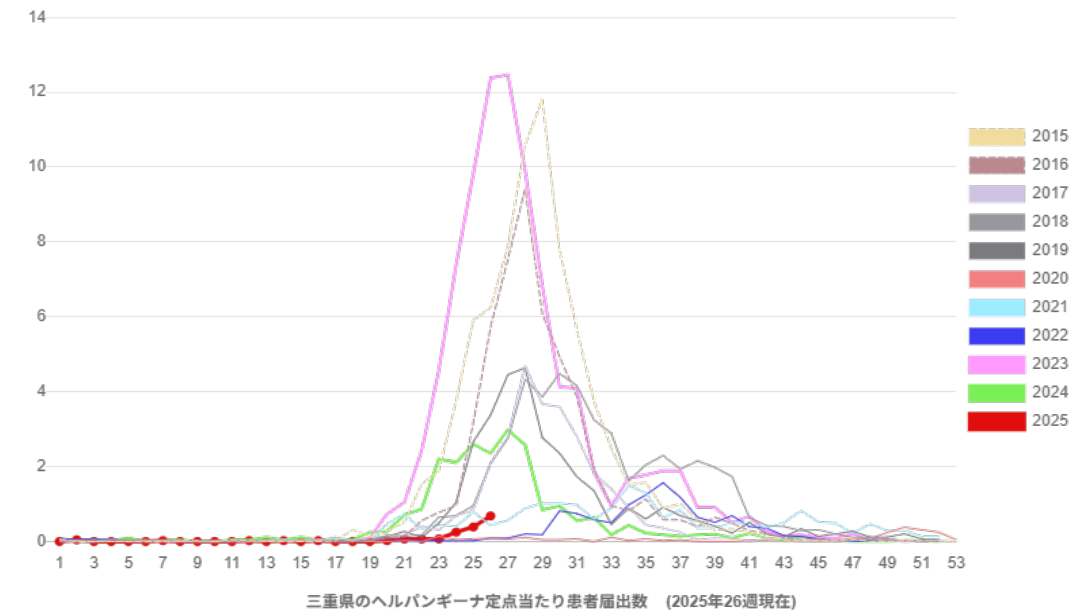
1歳を中心に4歳位までの幼児に多い

- 流行時期

例年、7月頃に流行のピークがある

- 登校（園）基準

症状が回復した後



伝染性紅斑

■ 病原体

ヒトパルボウイルスB19

■ 感染経路

接触感染、飛沫感染

■ 好発年齢

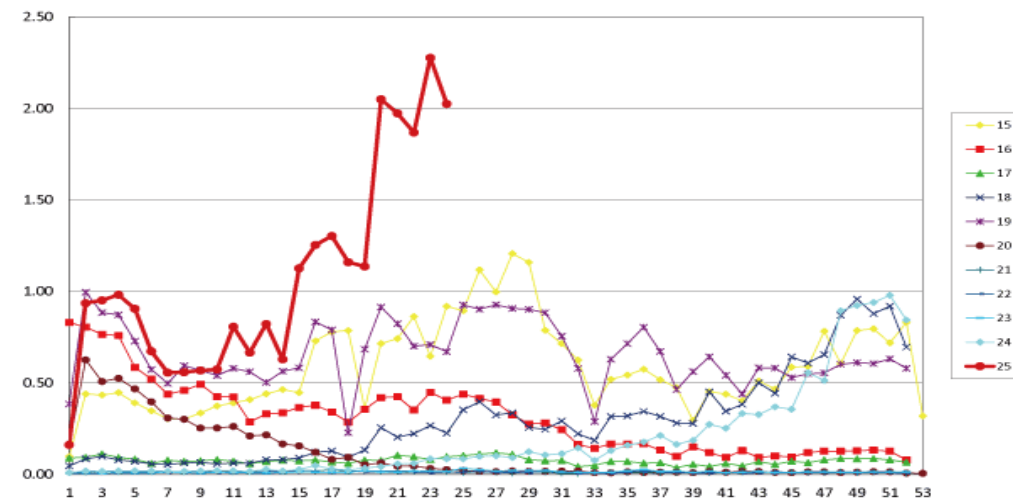
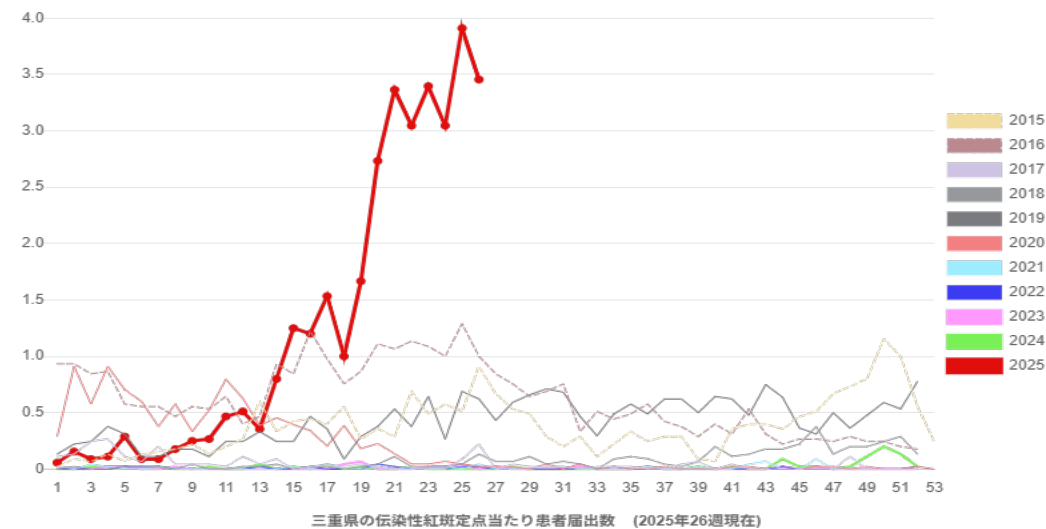
5歳～9歳が主で、ついで1歳～4歳に多いとされている

■ 流行時期

例年1月から7月上旬にかけて患者数が増加し、9月頃に患者数が最も少なくなりますが、流行が小さい年には季節性がはっきりみられないこともあります。

JHIS <https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ta/5th-disease/010/5th-disease.html>

県情報センター https://www.kenkou.pref.mie.jp/disease_erythema.html



全国の定点当たり患者報告数 (2025年24週現在)
JHIS感染症情報提供サイトより

咽頭結膜熱

■ 病原体

主にアデノウイルス 3 型、2 型

■ 感染経路

飛沫感染、接触感染、経口感染

■ 好発年齢

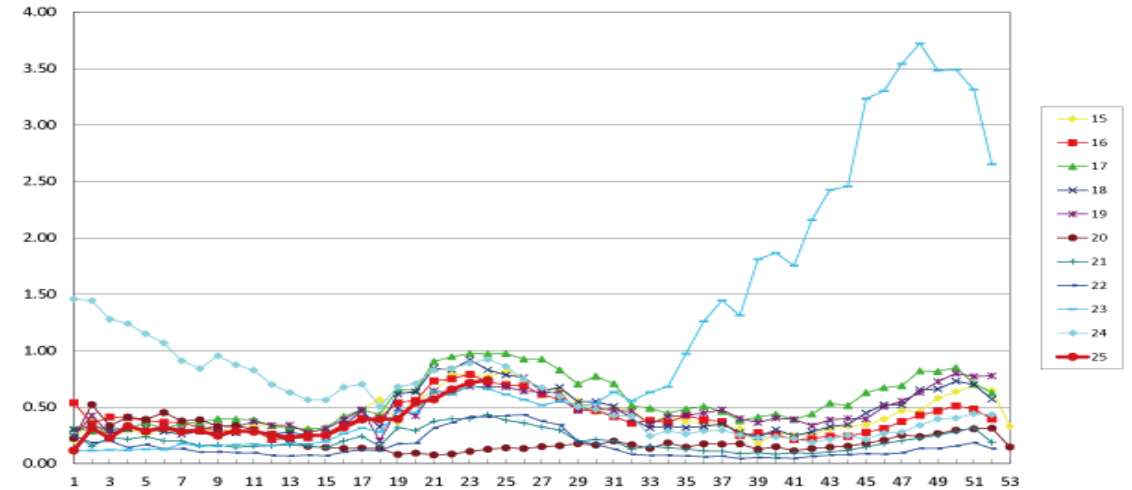
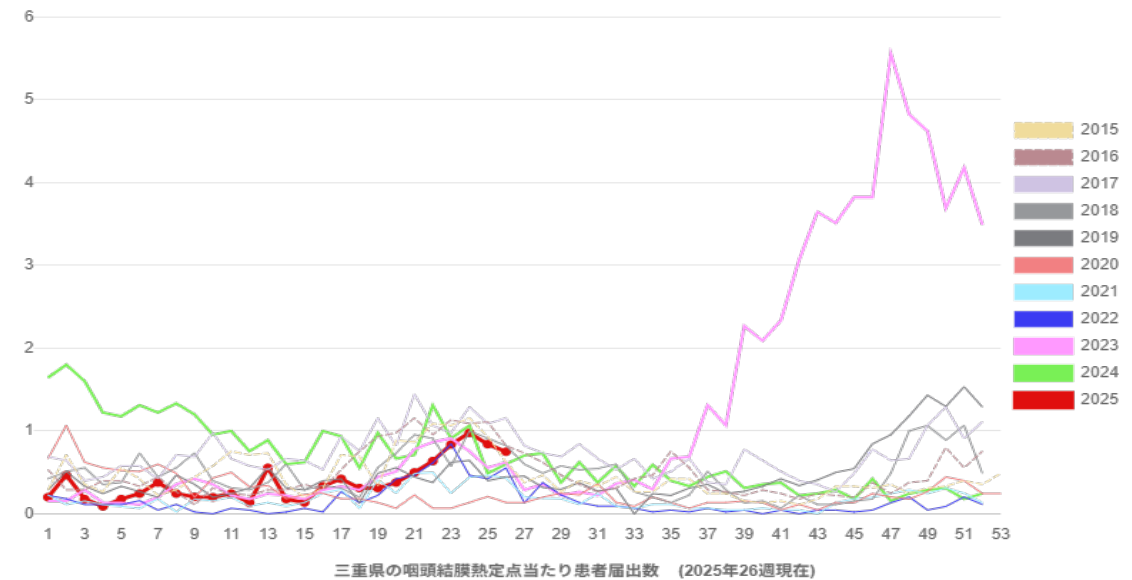
1歳を中心に5歳位までの幼児に多い

■ 流行時期

例年、6～7月にピークがある

■ 登校（園）基準

主要症状が消退した後2日を経過するまで出席停止



JHIS <https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/adeno/index.html>

県情報センター https://www.kenkou.pref.mie.jp/disease_conjunctival_fever.html

全国の定点当たり患者報告数 (2025年24週現在)
JHIS感染症情報提供サイトより

RSウイルス感染症

■ 病原体

RSウイルス

■ 感染経路

飛沫感染、接触感染

■ 好発年齢

生後1歳までに半数以上、2歳までにほぼ100%罹患

■ 流行時期

近年、夏から増加傾向となり秋にピークがみられていたが、2021～2023年は夏にピークがあり、過去のパターンと異なる

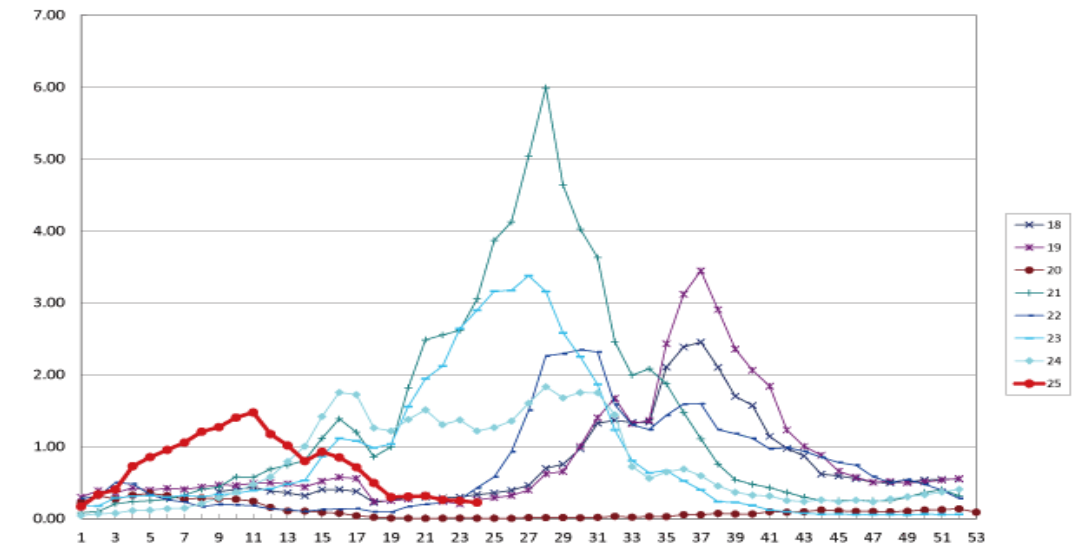
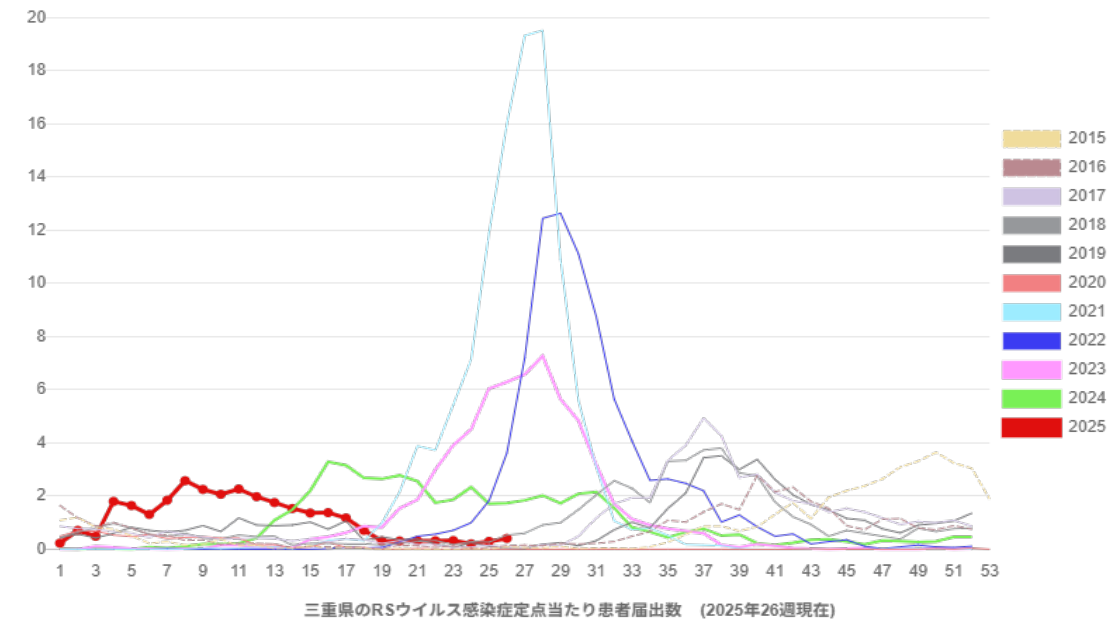
■ 登校（園）基準

全身状態が良くなれば

JIHS

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/topics/040/index.html>

県情報センター https://www.kenkou.pref.mie.jp/disease_rs_virus_infection.html



全国の定点当たり患者報告数 (2025年24週現在)
JIHS感染症情報提供サイトより

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■ 病原体

A群 β 溶血性レンサ球菌（化膿レンサ球菌）

■ 感染経路

接触感染、飛沫感染

■ 好発年齢

いずれの年齢でも起こり得るが、学童期の小児に最も多い

■ 流行時期

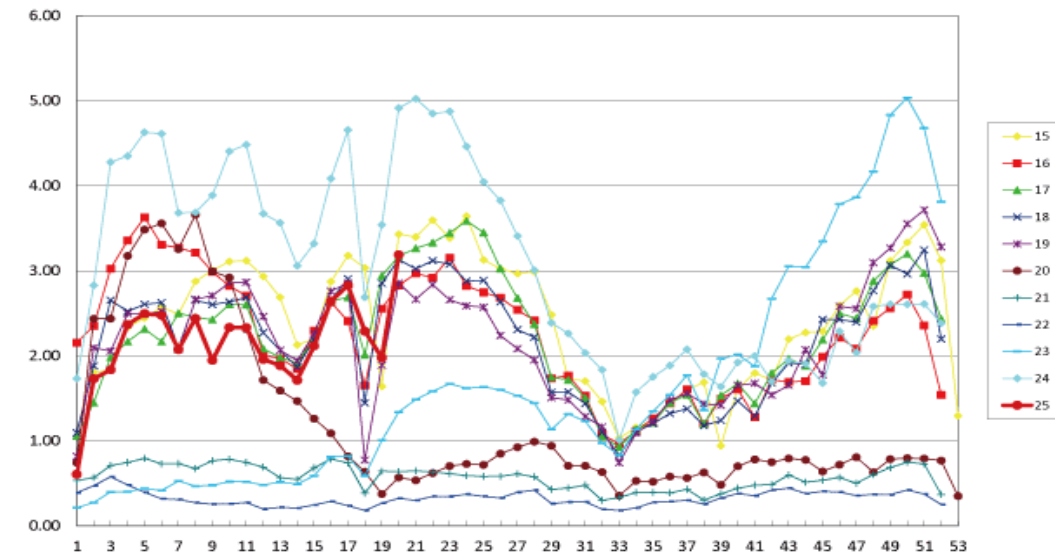
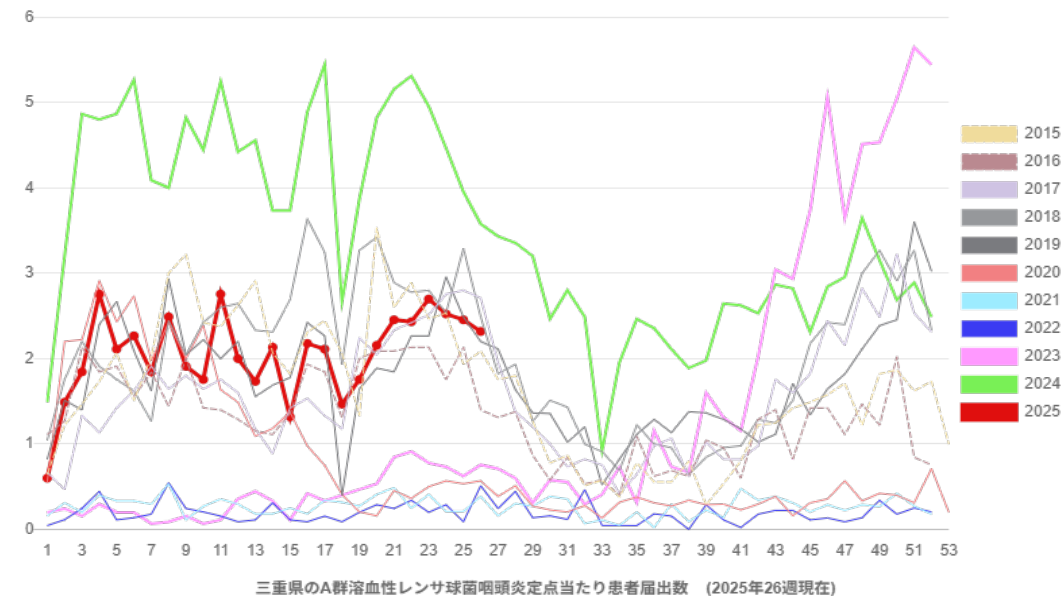
冬季および春から初夏にかけての2つのピークがある

■ 登校（園）基準

条件によっては、第3種感染症「その他の感染症」として、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまでの期間の出席停止の措置が必要と考えられる。

JHIS <https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/agun/index.html>

県情報センター https://www.kenkou.pref.mie.jp/disease_pharyngitis.html



マイコプラズマ肺炎

■ 病原体

肺炎マイコプラズマ（細菌）

■ 感染経路

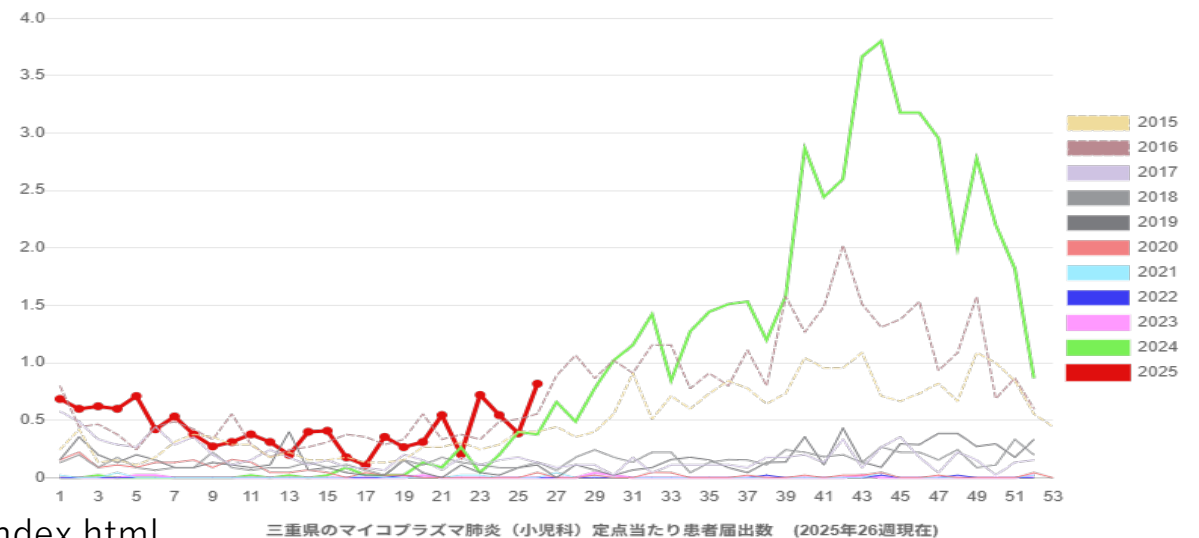
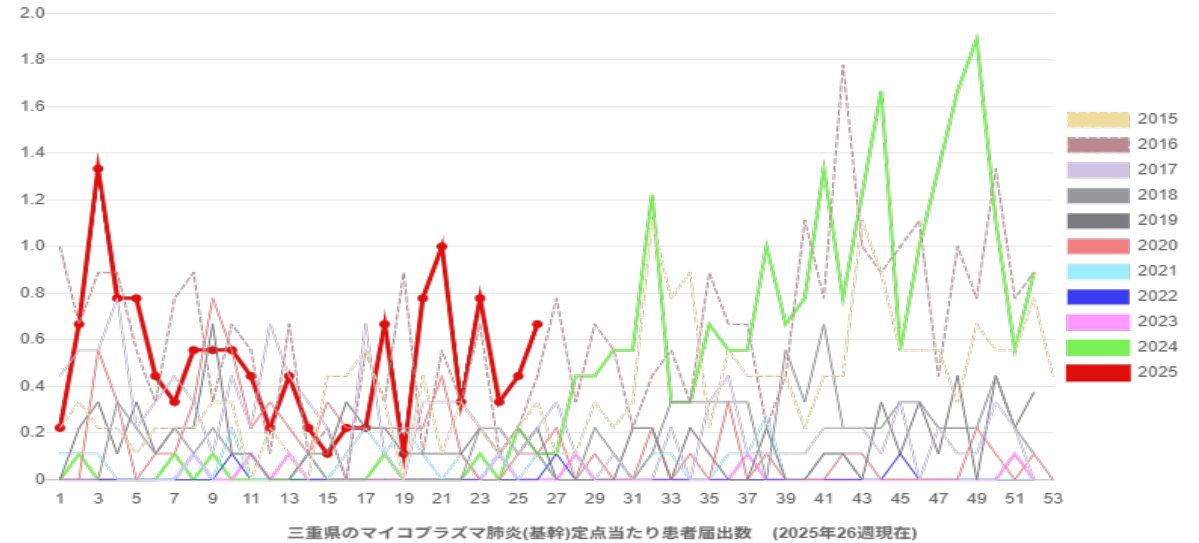
飛沫感染と接触感染

・ 臨床症状

潜伏期は通常 2～3週間で、発熱、全身倦怠、頭痛など。咳は当初は乾性の咳で、次第に激しさを増し、解熱後も長く続く

■ 流行時期

晩秋から早春にかけて報告例が多くなるが、近年この傾向は崩れている



JHHS <https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/mycoplasma-pneumoniae/index.html>

さっちみえ <https://www.kenkou.pref.mie.jp/sacchimie/disease/myco.html>

マイコプラズマ肺炎

■ 病原体

肺炎マイコプラズマ（細菌）

■ 感染経路

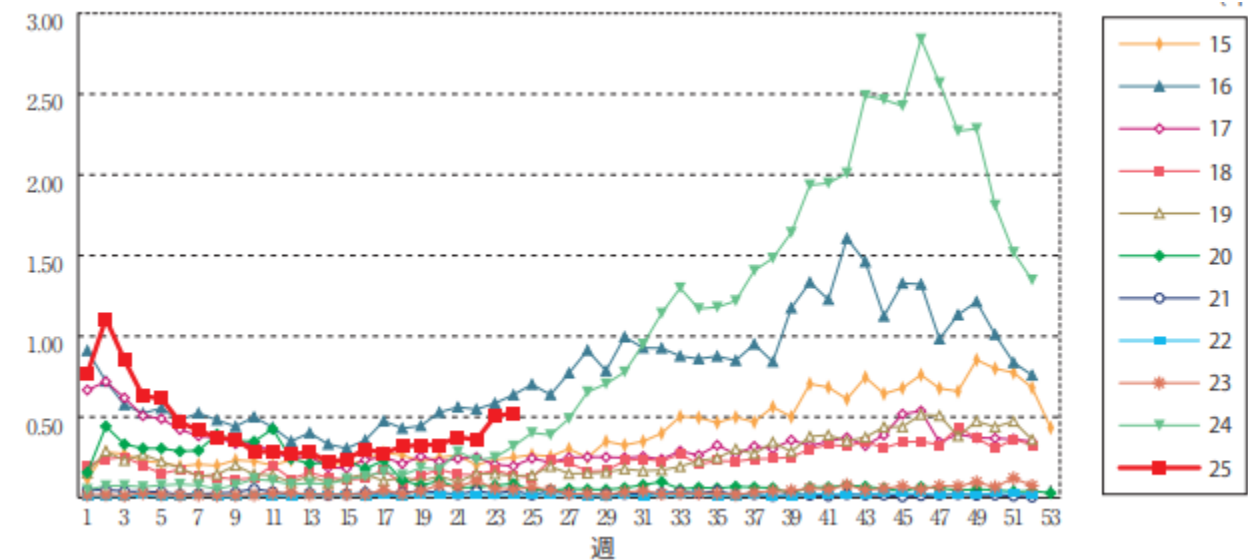
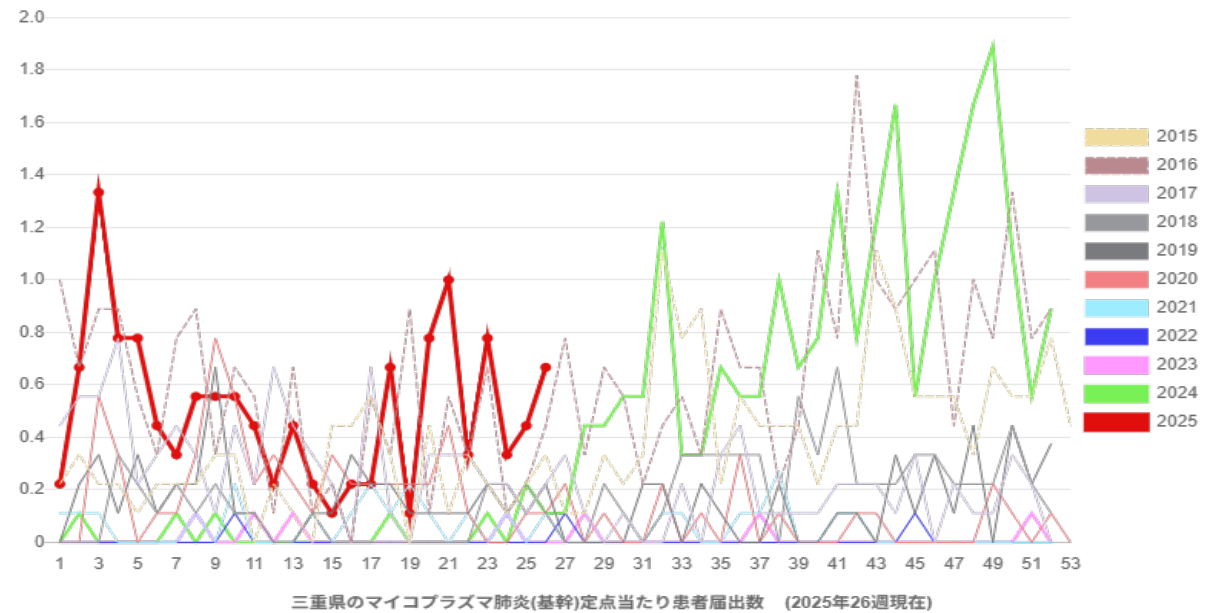
飛沫感染と接触感染

・ 臨床症状

潜伏期は通常 2～3週間で、発熱、全身倦怠、頭痛など。咳は当初は乾性の咳で、次第に激しさを増し、解熱後も長く続く

■ 流行時期

晩秋から早春にかけて報告例が多くなるが、近年この傾向は崩れている



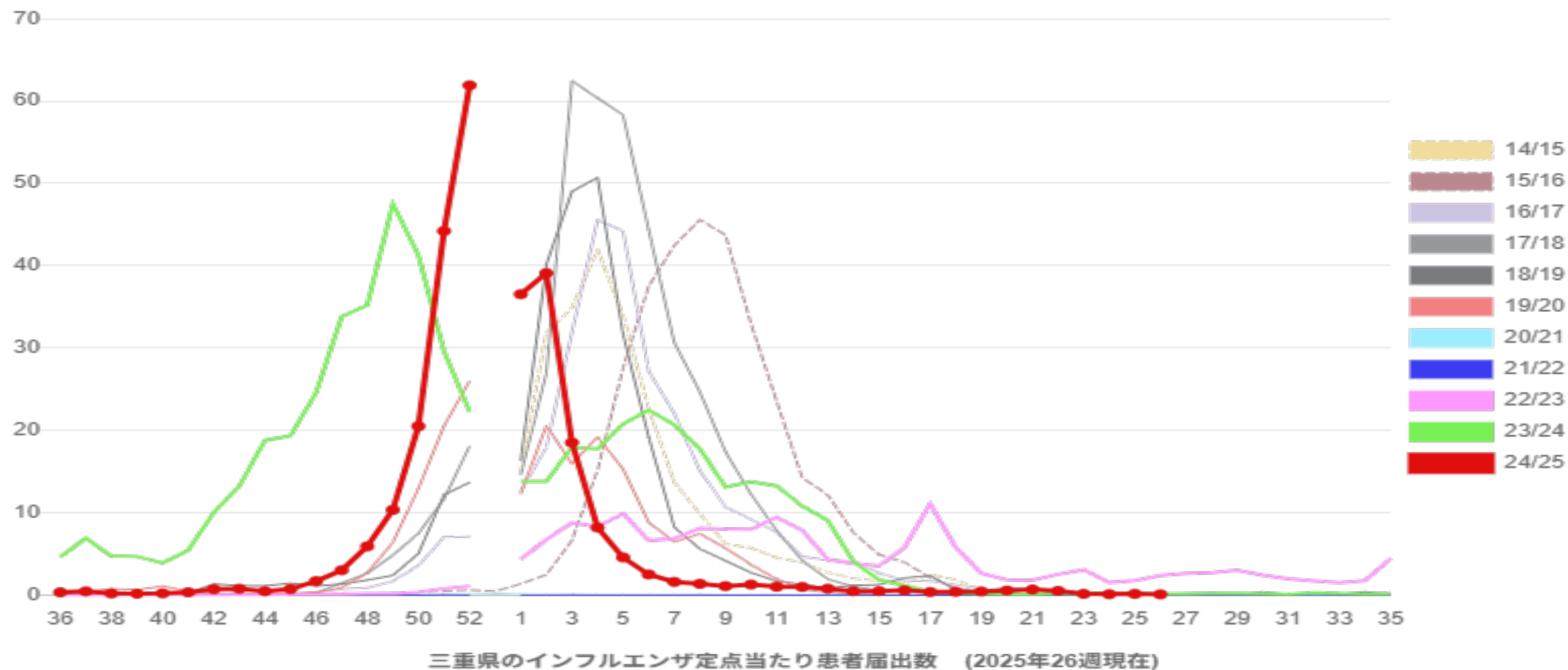
JHIS <https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/mycoplasma-pneumoniae/index.html>

全国の定点当たり患者報告数 (2025年24週現在)
JHIS感染症情報提供サイトより

さっちみえ <https://www.kenkou.pref.mie.jp/sacchimie/disease/myco.html>

インフルエンザ

(流行時期に合わせ第36週から翌年第35週を1シーズンとして集計しております)



COVID-19

2025年26週現在

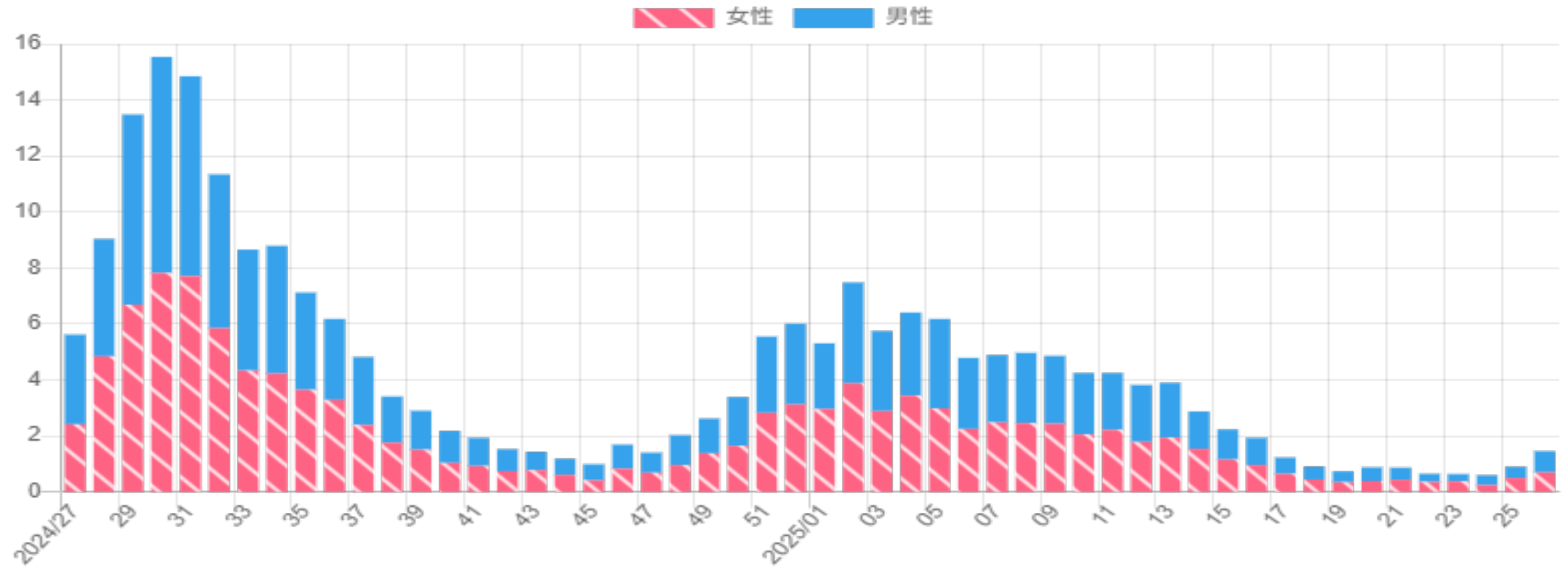


図1. 三重県のCOVID-19定点あたり患者届出数

急性呼吸器感染症サーベイランス

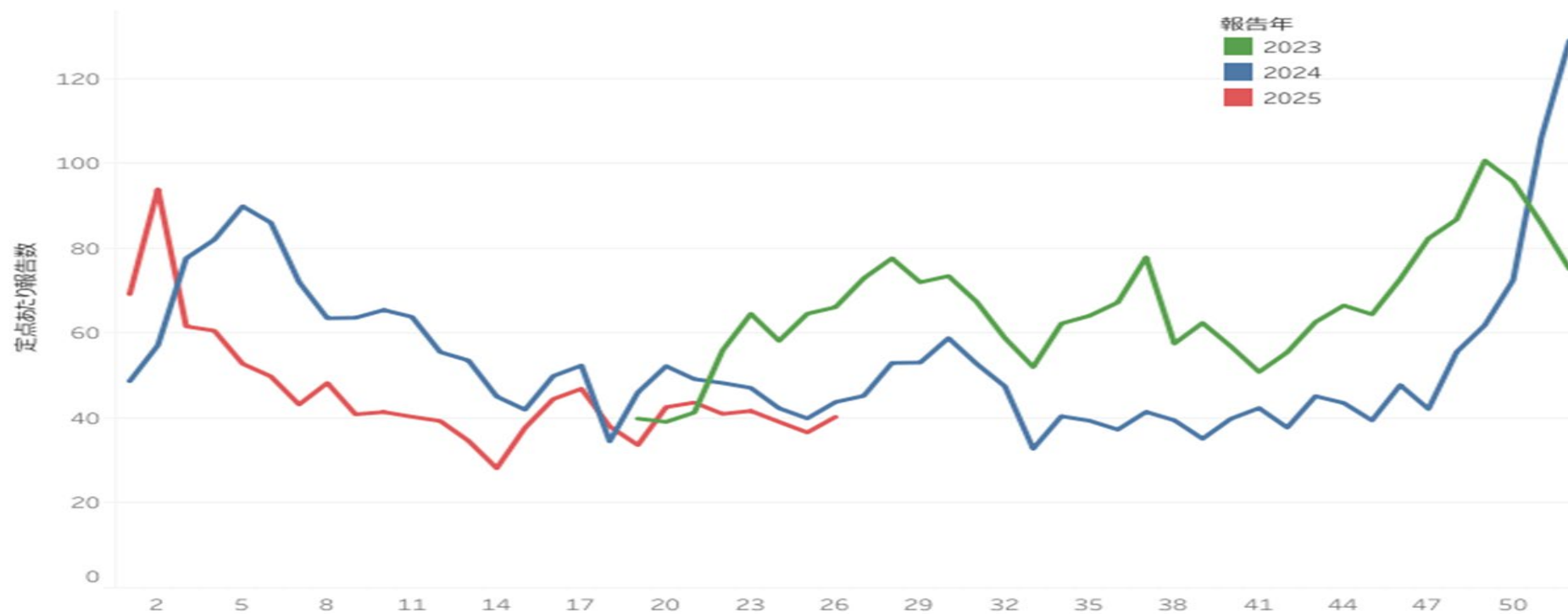
2025年26週現在

保健所名
三重県

診療科目
内科+小児科

疾患名
急性呼吸器感染症

図1. 年別定点あたり報告数の推移



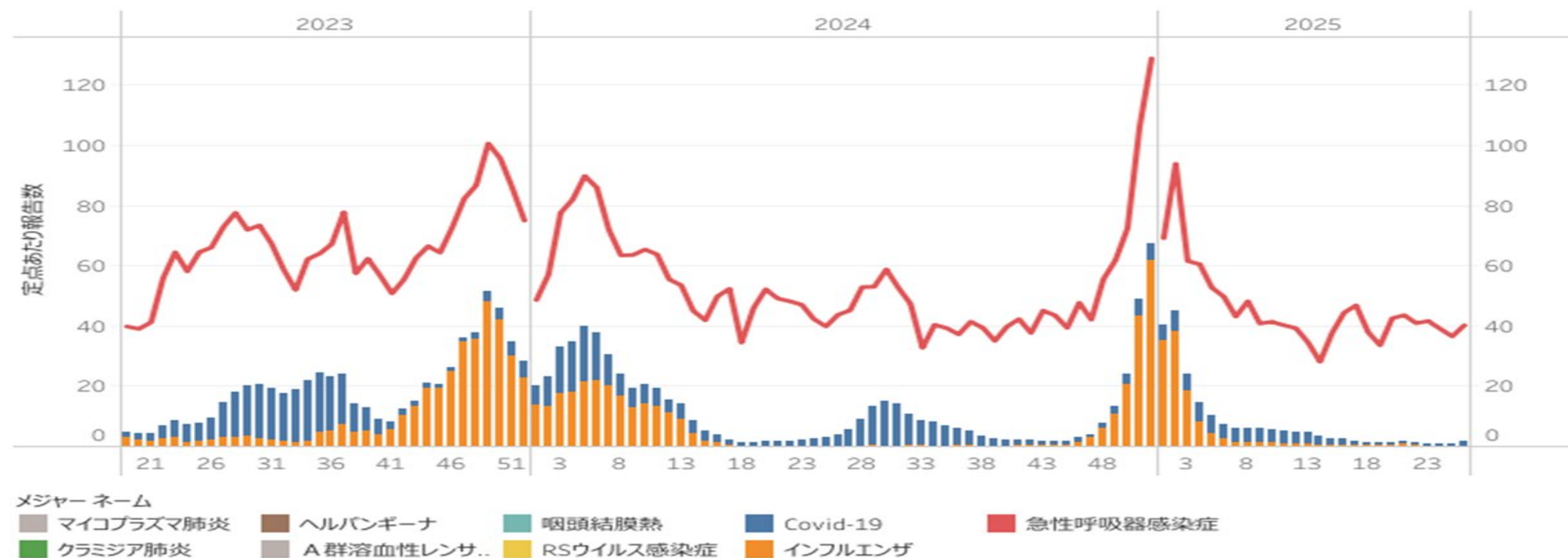
2025年26週現在

診療科目 (Graph1)
内科+小児科

保健所名 (Graph1)
三重県

報告年 (Graph1)
すべて

図2. 急性呼吸器感染症と各疾患の定点あたり報告数



診療科目 (Graph1)
小児科

保健所名 (Graph1)
三重県

報告年 (Graph1)
すべて

図2. 急性呼吸器感染症と各疾患の定点あたり報告数

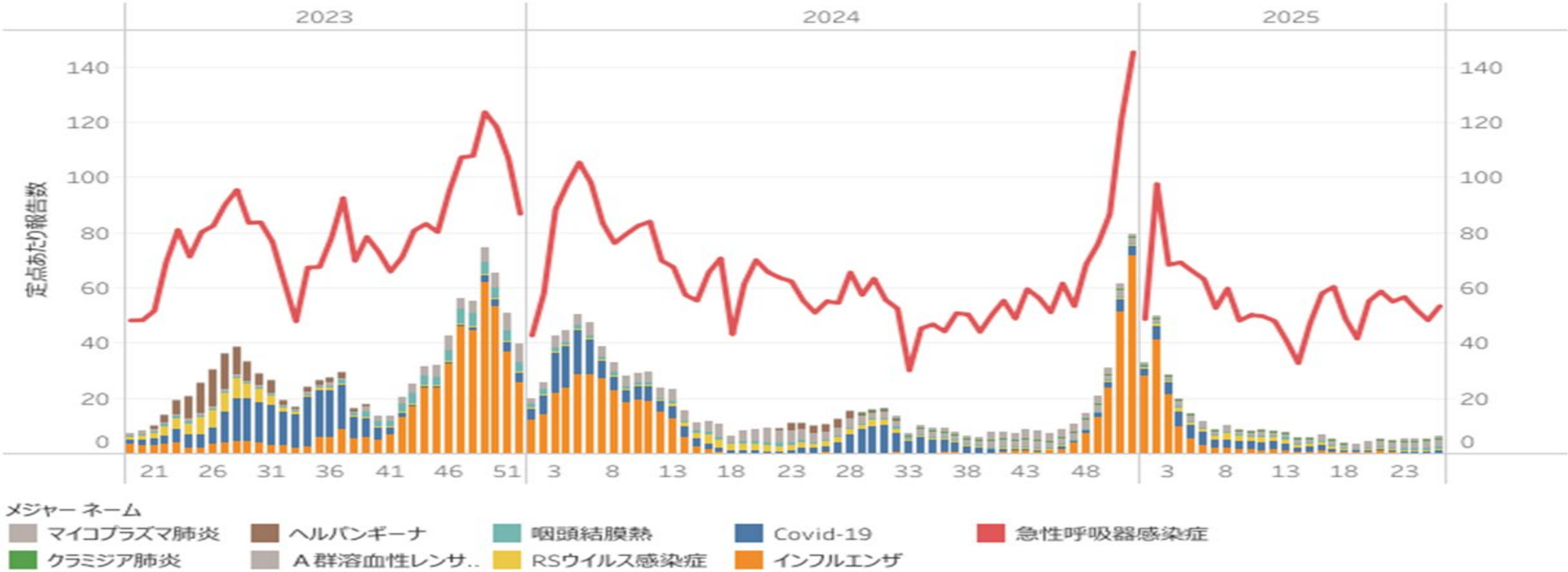
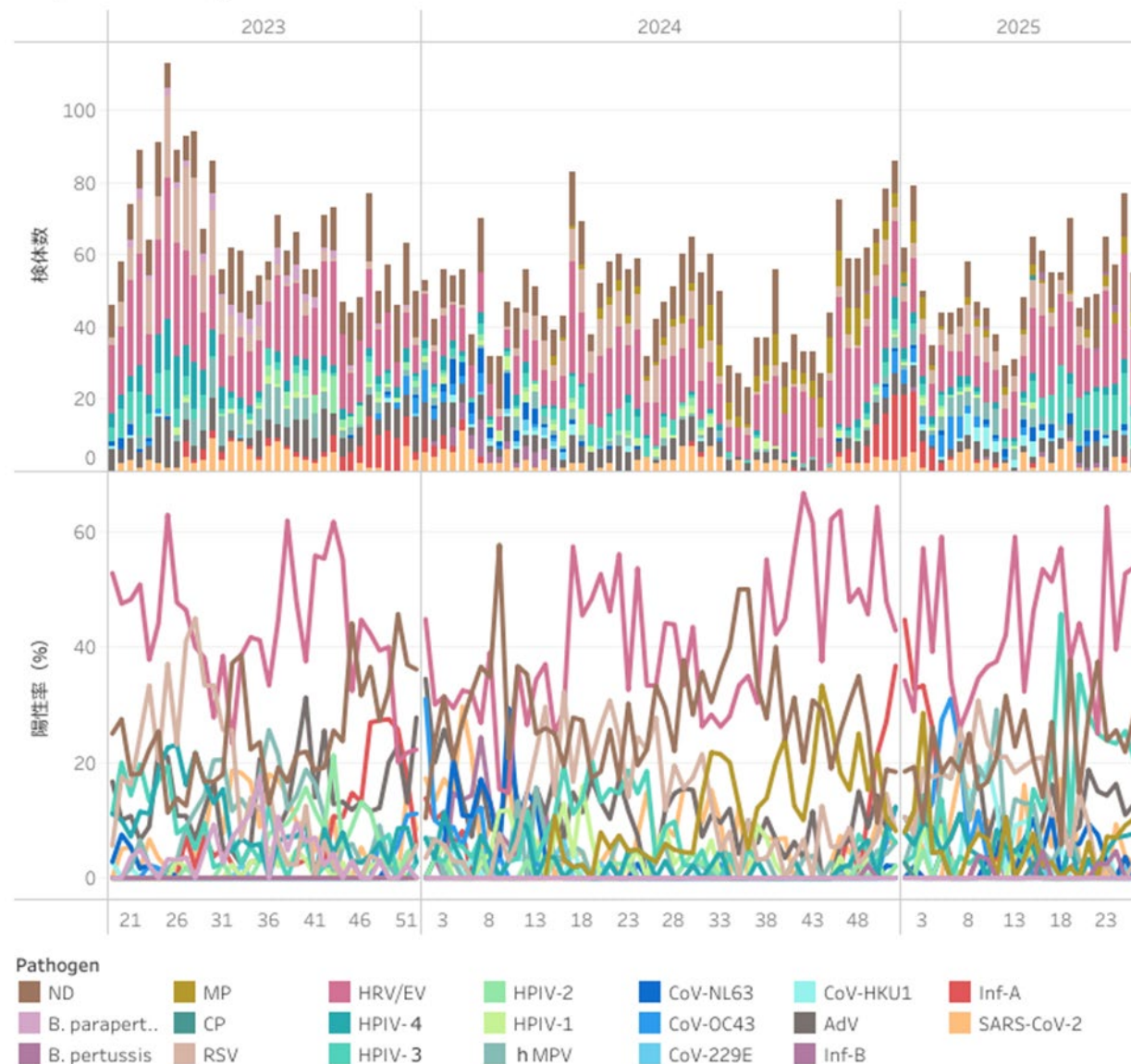


図8. FilmArray呼吸器パネル®を用いた病原体サーベイランス(感染症発生動向調査事業(県独自含む))



AdV	アデノウイルス
CoV-229E	ヒトコロナウイルス229E
CoV-HKU1	ヒトコロナウイルスHKU1
CoV-NL63	ヒトコロナウイルスNL63
CoV-OC43	ヒトコロナウイルスOC43
SARS-CoV-2	新型コロナウイルス
hMPV	ヒトメタニューモウイルス
HRV/EV	ヒトライノウイルス/エンテロウイルス
Inf-A	インフルエンザウイルスA型
Inf-B	インフルエンザウイルスB型
HPIV-1	ヒトパラインフルエンザウイルス1型
HPIV-2	ヒトパラインフルエンザウイルス2型
HPIV-3	ヒトパラインフルエンザウイルス3型
HPIV-4	ヒトパラインフルエンザウイルス4型
RSV	RSウイルス
B.parapertussis	パラ百日咳菌
B.pertussis	百日咳菌
CP	クラミジア肺炎 (クラミドフィラ・ニューモニエ)
MP	マイコプラズマ肺炎 (マイコプラズマ・ニューモニエ)
ND	未検出